

## 一緒に未来を考えませんか？～ふくいSDGsパートナーシップ～

県では、SDGs 推進のための官民連携プラットフォーム「福井県 SDGs パートナーシップ会議」を創設し、メンバーとなる「ふくいSDGs パートナー」を募集しています。福井の未来のために何ができるか、一緒に考え、実践していきましょう！たくさんの申し込みお待ちしております。

### 申し込み方法

次の書類をメール、郵送で県に提出してください。  
 ① 登録申請書 ② SDGs 宣言書  
 送付先：〒910-8580 福井市大手3丁目17-1  
 福井県地域戦略部未来戦略課  
 ※ 様式はホームページからダウンロードできます。



▲ 様式ダウンロードのほか詳細はこちら



### 登録すると...

- ・SDGs に積極的に取り組む企業・団体を県がPR
- ・SDGs の取組み内容や進め方についてアドバイザーを紹介
- ・オリジナルロゴマークを名刺や会社案内などに使用可能 など



問合せ 福井県地域戦略部未来戦略課  
 ☎ 20-0759 ✉ mirai-senryaku@pref.fukui.lg.jp

## 市では、こんな活動しています



### おにぎりで世界を救う！

NPO 法人 TABLE FOR TWO が 10 月 5 日 (火) から 11 月 5 日 (金) にかけて実施する「おにぎりアクション 2021」に、あわら市が自治体パートナーとして今年も参加します。

これは、おにぎりに関する写真を特設サイトに投稿すると、協賛企業から写真 1 枚につき 100 円が寄付されるものです。寄付金は、アジアやアフリカの子どもたちに給食を届ける資金に充てられます。

市は、NPO 法人 TABLE FOR TWO を通じて、写真 1 投稿につき給食 5 食分 (100 円) を届けます。昨年は、市民の皆さんや地元の金津高等学校生徒会、市内小学校、こども園の協力により、683 枚の写真を投稿し、3,400 食分以上の給食を届けることができました。活動を通じて、社会貢献だけでなく、お米の消費拡大を図るとともに、あわら市を全国に向けて発信していきます。一緒に参加して、世界を救いませんか。

参加方法 おにぎりと一緒に撮った、幸せな瞬間や風景をメールでお送りください。  
 送信先 onigiri@city.awara.lg.jp  
 問合せ 政策広報課 ☎ 73-8005 ✉ seisaku@city.awara.lg.jp



▲ メールはこちら



### 次世代を担う子どもたち

児童や生徒一人一人が、平等に教育を受けられるよう取り組んでいます。タブレット端末を使った授業や地域を散策してその土地の歴史を学ぶ授業などを行い、児童や生徒の学ぶ意欲を高めています。

これからも、あわら市の次世代を担う子どもたちを育てていきます。



### あわらの環境を考える

あわらの環境を身近に感じてもらうと、海岸の清掃活動や北潟湖でのイベント、講習会などを開催しています。

また、令和 4 年度の始動を目指し「第 2 次あわら市環境基本計画」を策定しています。その中に若い世代の考えを反映させようと、地元の生徒たちと意見交換を行っています。



# みんな達成！ SDGs でよりよい未来を

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



### SDGs ってなに？

SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) は、「**誰一人取り残さない (leave no one behind)**」 **持続可能でよりよい社会の実現を目指す** 世界共通の目標です。2015 年の国連サミットにおいて全ての加盟国が合意した「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」の中で掲げられました。2030 年を達成年限とし、17 のゴールと 169 のターゲットから構成されています。

### 誰でもできる！ SDGs アクションガイド

参考：国連広報センター アクションガイド

#### Level 1 ソファに寝たままできること



電気を節約しよう。電気機器を電源タップに差し込んで、使っていないときは完全に電気を切りましょう。



印刷はできるだけしない。ノートにメモしたり、デジタル付箋を使って、紙を節約しよう。



生鮮品や残り物、食べきれないときは冷凍しよう。食べ物もお金も節約することができます。



紙やプラスチック、ガラス、アルミをリサイクルしよう。埋立地を増やす必要がなくなります。

#### Level 3 家の外でできること



買い物には、マイバッグを持参しよう。レジ袋は断って、いつも持ち歩こうにしましょう。



使わないものは、寄付しよう。慈善団体は、あなたが使っていた衣服や本、家具に新しい命を吹き込んでくれるはず。

#### Level 4 職場でできること



職場で差別があったら、どんなものであれ声を上げよう。人は皆、平等です。



賃金格差をなくそう。同一労働、同一賃金を支持するように声をあげましょう。